

## 会 議 録

会 議 名	令和3年度 第5回 川西市社会教育委員の会(地域学校協働本部部会) 兼 第2回地域学校協働本部運営会議		
事務局	教育推進部 社会教育課・教育保育課 (内線 3421・3412)		
開催日時	令和4年1月17日(月)15時00分～16時30分		
開催場所	市役所4階庁議室(ZoomによるWeb会議)		
出席者	委 員	野崎議長、金子委員、中川委員、岩永委員、井上委員	
	そ の 他	東谷中学校 足立校長 池内地域学校協働活動推進員、安達地域学校協働活動推進員	
	事 務 局	山戸教育推進部副部長(教育保育担当)、村山社会教育課長、高橋教育保育課長、大下主査、網永事務員	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	別紙のとおり		
会議結果	別紙のとおり		

# 審議経過

## 1. 開 会

## 2. 副部長あいさつ

## 3. 令和4年度以降の学校運営協議会・地域学校協働本部会の計画について

「川西市地域学校協働活動の推進の方向性について」事務局より説明。

### 【全国の現状】令和3年5月1日現在

- ・全国の学校のうち33.3%がコミュニティ・スクールを導入している。
- ・全国の公立学校のうち、54.7%が地域学校協働本部にカバーされている。
- ・学校運営協議会、地域学校協働本部は全国的に導入が進んでいる。

### 【川西市の現状】

- ・令和3年度時点での学校運営協議会設置校 5校園  
久代幼稚園、清和台南小学校、多田中学校、東谷中学校、北陵小学校
- ・令和3年度時点での地域学校協働本部設置校 12校  
多田中学校区、清和台中学校区、東谷中学校区
- ・令和4年度以降学校運営協議会は、地域学校協働本部を導入している中学校区内の認定こども園、公立小学校、中学校に設置する。
- ・地域学校協働本部は設置済み中学校区地域学校協働本部に中学校区なの認定こども園、幼稚園が加わる。

### 【令和4年度実施予定の具体的な取り組み】

- ・中学校区地域学校協働本部会の開催（年2～3回程度）  
管理職、地域学校協働活動推進員、支援員、学校運営協議会会長、副会長などが参加をし、中学校区内の地域学校協働活動の交流、連携促進を図る。
- ・ミマモルメを活用し、ボランティアの募集、ボランティア参加希望の集約を行う。  
地域ボランティアはミマモルメに登録し、地域学校協働活動の情報を発信する。具体的な運用方法については資料を作成次第、共有する。

### 【計画等に対する社会教育委員の意見】

- ・運営協議会、地域学校協働本部を設置するにあたり、中学校区地域学校協働本部会は必要だと思う。
- ・コミュニティの活動も若い世代が参加しておらず、人材確保はとても大変である。時間に余裕のある人に支援をお願いすると考えると人材が偏る。学校に関わることから、現役の保護者が学校支援に関わってくれることが一番だとは思いますが、なかなか人材の確保ができない。
- ・学校運営協議会を設置し、それぞれの部会で具体的な活動を実施していくことで協力してくれる地域の人が増えるのではないかと。抽象的に学校を助けてくれと言っても何をするのか分からない

め、人は集まらない。例えば、花を植えるとかゲストティーチャーを求めているとか具体的に地域に求めている人材を伝えることで、人材の確保につながるのではないか。

- ・中学校区内では、距離的に離れている学校があるので、連携を図ることが困難である。青少年育成市民会議を上手く活用し、地域学校協働本部の推進に繋げていければと思う。
- ・コミュニティについても人材が高齢化してきており、後継者を探していかないといけない。
- ・コミュニティ会長などが学校運営協議会に集まっている中で、地域学校協働活動推進員が中心となり活動を進めていくのは難しいのではないか。地域で力の強い人に意見を言うことは難しい。地域学校協働活動推進員として任命されたが、どう活動していったらいいかわからない。
- ・地域学校協働活動を進めていくためには、人とのつながりが大事なので、学校運営協議会のメンバーにコミュニティ会長がいることはとてもありがたい。実際に、ボランティア人材を数名紹介していただいた。学校運営協議会委員や地域学校協働活動推進員、協働活動支援員がどれだけいろんな人と学校を繋げることができるかが大事である。
- ・市議会議員が学校運営協議会や地域学校協働本部の委員として活動することはどうなのか。
- ・地域学校協働本部の推進が他市と比べて強くない。地域づくりを校長先生に担うことは難しい。

#### 4. 社会教育委員の会地域学校協働本部会提言書の作成について

2月9日(水)10時から開催される第6回社会教育委員の会では、地域学校協働本部部会とレフネック部会で提言書を発表する。

##### 【地域学校協働活動の在り方についての提言】

(1)川西市教育委員会として目指す方向性を明確に示し、学校・地域住民へ情報共有し理解の促進を図る。

○積極的に学校・地域連携の意義や地域学校協働活動の成果の周知を図っていく。

○各学校において、学校便りやHP等の活用を通じて、学校と地域との双方向の情報の流れを作り、学校側と保護者・地域住民との相互理解を深める。

○関係する学校の教職員や地域学校協働活動推進員、協働活動支援員を対象に、学校・地域との連携を深めるための研修会などを開催する。

(2)地域学校協働活動と学校運営協議会の一体的な推進について学校・地域の実態に応じた形で推進する。

○地域学校協働本部と学校運営協議会の一体的推進とは具体的に何かを示し、各学校や中学校区において、地域学校協働本部が担う役割を明確にしておく。

○始めから完成形というものはなく、地域学校協働本部も学校運営協議会もそれぞれ成長、進化していくものである。

○地域学校協働活動推進員は学校運営協議会の委員として学校運営にも参画する。今後、地域学校協働活動推進員が学校運営協議会と地域学校協働活動の総合調整役として事務機能等を含めた全体の企画・運営の機能を担う存在となるよう環境を整えることが必要となる。

(3)地域学校協働活動を推進する体制を構築する。

○学校側のニーズを踏まえ、面白そうなテーマや活動内容を選び、それを地域に発信していく。

○各学校において、地域学校協働活動推進員や協働活動支援員が活動しやすいように、学校・地域連携による活動を年間行事予定等に組み込んでおく。

○教員にボランティアやコーディネーターとの連絡調整を担当する役割を校務分掌に位置付けることを検討する。

○他校の地域学校協働活動について交流や実践事例を共有する機会を設けることが有効である。

(4) 地域学校協働ボランティアの参画を推進する。

○放課後子ども教室、PTAなどの学校を支援している団体などの横の連携を強化し、ネットワーク化を図る。

○市教育委員会で募集チラシや人材バンクを作成し、地域住民が交流する場で周知を図る。

○活動の成果を積極的に周知するなどしてボランティアの自己効力感を高める。

(5) 地域学校協働活動推進に向けた環境整備を推進する。

○ボランティアやコーディネーターの打ち合わせや準備作業の拠点となる地域交流室を整備する。

○市教育委員会は地域学校協働活動を経費面から支援する。

【提言に対する社会教育委員の意見】

- ・地域学校協働活動を推進する目的は子どもたちのためが大前提にある。
- ・子どもたちが地域の人とかいんな人に育ててもらったという実感を得てもらうことが大事なのではないか。
- ・学校は地域にどういう支援を求めているかが分かりにくい。必要な支援を明確にして活動を進めていきたい。学校運営協議会を軌道にのせないと、地域連携というイメージがわからない。
- ・地域の活動に生徒を参加させたい。生徒が運営する立場になるのも良いと思う。生徒が地域行事に参加することで地域と学校が繋がることにもなるのではないか。学校の本音でいえば、子どもの成長について当事者意識を持っている方に協力してもらえるとありがたい。
- ・全ての学校運営協議会に参加できる人となると人材に限られるのではないか。
- ・学校運営協議会や地域学校協働本部の説明を学校長だけでなく、他の先生にも理解してもらえよう提案や説明をしてほしい。

5. 閉会